

第八十一回
帝國議會
貴族院

國民貯蓄組合法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

- 國民貯蓄組合法中改正法律案
- 納稅施設法案
- 臨時資金調整法中改正法律案
- 普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案
- 銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案
- 戰爭死亡傷害保險法案
- 鹽專賣法中改正法律案

委員氏名

委員長	伯爵橋本 實斐君
副委員長	男爵明石 元長君
	公爵一條 實孝君
	侯爵淺野 長武君
	子爵綾小路 護君
	子爵上原七之助君
	三井清一郎君
	男爵小畑太郎君
	下村 宏君
	河田 烈君
	富田 健治君
	澁澤 金藏君
	米山 梅吉君
	野村 德七君
	米原 章三君

昭和十八年一月三十日(土曜日)午前十時
十四分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君) 只今カラ國民貯蓄組合法中改正法律案外六件ノ特別委員會ヲ開會致シマス、此ノ委員會ニ付託サレ

マシタ案件ハ、只今申上ゲマシタ國民貯蓄組合法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

蓄組合法中改正法律案、納稅施設法案、臨時資金調整法中改正法律案、普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案、銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案、戰爭死亡傷害保險法案、鹽專賣法中改正法律案ノ七件デアリマス、只今ヨリ是等ノ法案ニ付キマシテ逐次當局ノ御説明ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ國民貯蓄組合法中改正法律案外六件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ御説明致シマス、先ヅ國民貯蓄組合法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、國民貯蓄増強上ノ施設ト致シマシテ、國民貯蓄組合ガ戰時下極メテ重要ナ使命ヲ果シツ、アリマスルコトハ、多ク説明ヲ要シナイ所デアリマスルガ、時局ノ進展ニ伴ヒ貯蓄増強ノ要ハ愈々緊切ヲ加ヘマシタル折柄、政府ニ於キマシテハ本制度ニ依ル組合貯蓄ノ増加ヲ更ニ一層促進致シタイト存ジマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、其ノ改正ノ要點ヲ舉ゲマ

スレバ、第一ハ國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル貯蓄ニ關スル課税ノ特典ヲ擴張致シマシテ、其ノ利子又ハ利益ニ對シマシテハ元本七千圓ヲ超エザル限り所得稅ヲ賦課セザルコトト致シタ點デアリマス、國民貯蓄組合ヲ通ズル貯蓄ハ其ノ性質上零細ナル資金ノ集積デアリマシテ、且相當長期間ニ互リ固定セラレモノデアリマスルカラ、課稅關係ニ於キマシテモ郵便貯金、銀行貯蓄預

金等ノ如ク分類所得稅ノミナラズ、綜合所得稅ヲモ賦課セザル適當ト認メタノデアリマス、第二ハ、勤務先預ケ金ノ統制ニ關スル規定ヲ新タニ設ケマシテ、此ノ種預ケ金ハ向後原則トシテ國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依リ受入ルベキモノト爲シ、其ノ受入ノ方法、又ハ受入レタル資金ノ運用ニ關シマシテハ、必要ナル指示ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ點デアリマス、會社、工場等ニ勤務スル者ガ當該勤務先等ニ對シテ爲ス預ケ金ハ近時特ニ増加ノ傾向ニアリマスルガ、之ニ關シマシテハ從來殆ド無統制ノ儘放置セラレテ居リマシタノデ、此ノ際之ヲ貯蓄組合トノ關聯ニ於キマシテ、其ノ資金ノ活用ニ關シ必要ナル規制ヲ爲サムトスルモノデアリマス、第三ハ、組合構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シマシテハ必要ニ應ジ加入命令ヲ爲シ得ルコトト致シマシテ、貯蓄組合體制ノ完備ヲ期セムトスルモノデアリマス、其ノ他市町村單位ノ地域組合ノ組織ヲ認メマスルコト、組合貯蓄ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、一定ノ外國有價證券ノ買入ヲ追加スルコト、一定範圍組合關係者ヲモ監督指導ノ對象トスルコト等ヲ其ノ内容トスルモノデアリマシテ、之ニ依リマシテ國民貯蓄組合ノ組織並ニ運營ノ適實化ヲ圖リ、以テ戰時貯蓄ノ増強ニ資セムトスルモノデアリマス、以上國民貯蓄組合法中改正法律案ノ要旨デアリマスルガ、次ニ納稅施設法案ニ付キマシテ御説明致シマス、國民

加ニ伴フ屢次ノ増稅ニ依リマシテ急激ニ増大シ、國民ノ經濟生活上租稅負擔額ハ相當大ナル部分ヲ占ムルニ至ツタノデアリマス、從ヒマシテ國民ハ戰時下ニ於ケル經濟生活ニ於キマシテハ、常ニ納稅ニ對スル準備ヲ怠ラザルコトガ極メテ肝要デアリマスルコトハ申ス迄モナイ所デアリマスルガ、政府ニ於キマシテモ、國民ノ納稅ノ履行ヲ容易ナラシメ、併セテ國民貯蓄ノ増強等ニ資スル爲本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、政府ハ從來ニ於キマシテモ國民ノ納稅精神ノ昂揚ヲ圖ルト共ニ、納稅組合ノ普及及勸獎其ノ他各種ノ行政的施策ニ依リ、納稅資金ノ蓄積ト滯納防止ニ力ヲ盡シテ參ツタノデアリマス、併シナガラ是等ノ行政的施策ノミニテハ未ダ十分ニ其ノ實效ヲ舉ゲ得ザルノミナラズ、他方豫メ納稅資金ノ準備ヲ爲シ置クコトニ關シマシテ適切ナル制度ガ完備シ居ラザル實情等ヲ省察致シマシテ、今回政府ハ納稅施設法ヲ制定シ、以下申述ベマスルガ如キ事項ヲ綜合規定スルノ必要ヲ認メタ次第デアリマス、以下本法律案ノ内容ニ付其ノ概要ヲ御説明申上ゲマス、第一ハ、納稅ニ關シ公共的事業ヲ行フ町内會、部落會及納稅組合ヲ納稅團體ナル法制上ノ團體トシテ認メマシテ、之ニ對シマシテハ政府ニ於テモ助成ノ途ヲ講ジマスル共ニ、納稅團體ニ於テ管理スル納稅資金ノ保有方法ニ付キマシテハ、其ノ確實ヲ期シマスル爲一定ノ制限ヲ設ケマスル等、指導監督上必要ナル事項ヲ規定シ、納稅團體ノ普

及並ニ發達ヲ圖ルコトヲ致シタノデアリマス、第二ハ、法人ニ對シマシテ當該法人ノ納付スベキ法人稅等ノ納稅準備ノ爲、決算確定ノ際一定割合ノ納稅積立金ノ積立ヲ爲サシメ、其ノ積立金ノ一部ハ之ヲ納稅準備預金ヲ以テ保有スベキ義務ヲ負ハシメマシテ、納稅ヲ容易確實ナラシメ、併セテ會社經理ノ適正ニモ資セムトスル次第デアリマス、尤モ右ノ積立及預金ノ保有ニ付、一舉ニ納稅見込額ノ全額ヲ強制致シマスルコトハ法人ノ經理上急激ナル變動ヲ與フルコトニ相成リマスルノデ、之ニ付キマシテハ經過的ニ緩和ノ措置ヲ講ズルノ要アルヲ認メマシテ、適當ナル考慮ヲ拂フコトヲ致シタノデアリマス、第三ハ、專ラ租稅公課ノ納付ニ充テラルコトヲ目的トスル納稅準備預金ナル新種預金ヲ創設致シマシテ、之ニ對シマシテハ比較的有利ナル利子ヲ付シ、且其ノ利子ニ對シテハ免稅ノ特典ヲ附與シ、又本預金ヲ受入レル金融機關ヲシテ預金者ノ爲ニ租稅公課ノ納付ニ關スル事務ヲモ取扱ハシメマスル等ノ便宜ヲ與フルコトヲ致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ納稅者ニ對シ、納稅ニ付有利ニシテ且便宜ナル手段ヲ提供シ、以テ納稅ノ準備ヲ爲サシメムトスル次第デアリマス、第四ハ、戰時財政經濟ノ運營上所要資金ノ圓滑ナル調達ヲ圖ル爲ニハ、租稅ノ形態ニ依ルノ外、其ノ更ニ大ナル部分ヲ國民貯蓄ノ増強ニ俟ツノデアリマスルガ、今回新タニ租稅ノ納付ト、國民貯蓄ノ増強トヲ關聯セシメマシタル一ツノ新シイ施設トシテ、租稅ノ貯蓄納付制度ヲ創設致シマシテ、之ガ目的遂行ニ寄與セムコトヲ期シタ次第デアリマス、本制度ノ内容ハ特定ノ所得稅、臨時利得稅等ノ納稅者ガ、其

ノ稅額ノ二倍或ハ三倍ニ相當スル金額ノ貯蓄、即チ戰時納稅貯蓄ヲ爲シタル場合ニ於キマシテ、當該租稅ノ納付ト同一ノ效果ヲ生ゼシメルニアルノデアリマス、之ニ依リ國民ノ納稅義務ノ履行ヲ容易ナラシメマスルト共ニ、他面國民貯蓄ノ積極的ナル増強ト、財政資金ノ圓滑ナル調達ヲ圖リ、併セテ家産ノ造成ニ資シ、或ハ年金類似ノ作用ヲ有スル貯蓄トシテノ機能ヲ發揮セシメムトスルモノデアリマス、次ニ臨時資金調整法中改正法律案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ダタイト存ジマス、戰時財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ確保シ、多額ノ戰費及產業資金ヲ調達シ、戰力ノ増強ヲ圖リマスルコト益々緊要ト相成テ居リマスルコトハ茲ニ申上ダタル迄モアリマセス、是ガ爲ニハ各般ノ措置ヲ講ジマシテ、國民貯蓄ノ増強、浮動購買力ノ吸收ヲ圖リマスルト共ニ、國債其ノ他ノ證券ノ消化促進、產業資金ノ調達及ビ國民貯蓄ノ保護ノ爲有價證券ノ適正簡易ナル賣買機構ヲ整備シ、株式ノ市價安定ヲ圖ル必要ガアリマスルノデ、今般臨時資金調整法ヲ改正シ、之ニ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ致シタノデアリマス、先ヅ本法案ノ主ナル點ヲ說明致シマス、改正ノ第一點ハ新種貯蓄方法ヲ實施シ、新種證券ヲ發行シ得ルコトヲ致シタコトデアリマス、即チ第一ニハ銀行其ノ他ノ各種貯蓄取扱機關等ハ從來ト雖モ政府及金融統制會ノ指導ノ下ニ、國民貯蓄ノ増強ニ力ヲ盡シテ參ツテ居ルノデアリマスルガ、今般國民貯蓄ノ増強ヲ圖ル爲必要アリト認メマスル時ハ、政府ハ銀行其ノ他ノ所謂貯蓄取扱機關等ニ對シマシテ、各種ノ新種貯蓄ノ取扱ヲ爲サシメ、且之ニ付テ課稅上ノ優遇措置ヲ講ジ得ルコ

トト致シマスルト共ニ、貯蓄者ノ便宜ヲ圖リ、種々貯蓄施設ノ整備ヲ行ハシメマスル等、資金ノ吸收ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトヲ致シ、以テ現下時局ノ要請ニ基キ今後一層ソレノ機能ヲ最モ有效ニ活用シ、政府ト一體的活動ヲ爲サシムルコトト致シタノデアリマスルガ、之ニ伴ヒ必要ニ應ジマシテハ損失補償又ハ補助金交付等ノ方途ヲ講ズルコトヲ致シ、以テ之ガ效果ノ萬全ヲ期スルコトヲ致シタ次第デアリマス、第二ニ、現在國債其ノ他ノ債券等ニ於キマシテハ、其ノ券面金額ノ種類ニハ一定ノ制限ガアリ、金利其ノ他ノ關係デ當時賣出ノ方法モ取り難ク、又各種ノ預貯金、金錢信託等所謂金錢貯蓄ニ付キマシテモ當該貯蓄取扱機關ノ所在地ノ遠近、店鋪數ニ限リガアル等ノ理由ニ依リ、何レモ貯蓄手段トシテハ尙不便ノ場合ガ多イノデアリマス、併シナガラ國民貯蓄ノ増強ヲ圖ツテ參リマスニハ、苟クモ貯蓄手段ノ不備等ノ理由ニ依リ貯蓄ノ機會ヲ逸セシムルコトガアツテハナラナイノミナラズ、進ンデ能フ限り簡便ナル方法ヲ案出シ、之ガ増強ヲ期スルノ必要ガアルト考ヘラレマスルノデ、茲ニ一定ノ預貯金等ニ充ツルコトヲ目的トスル證券ヲ政府自ら發行シ、又ハ命令ノ定ムル者ヲシテ發行セシムルコトヲ致シ、以テ右趣旨ヲ遂行ヲ期スルコトヲ致シタノデアリマス、第三ニ、元來貯蓄手段ニ對シテ割増金ヲ附與致シマスルコトハ、國民大衆ノ微妙ナル心理ヲ利用シテ零細ナル資金、或ハ動モスレバ戰時下好マシカラザル消費ニ向ハムトスル購買力ノ吸收ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノデアリマスルガ、是ガ爲ニハ割増金ヲ附スベキ貯蓄手段、割増金附與ノ

方法及金額、或ハ其ノ賣出又ハ募集ノ方法等ニ付絶エズ新タナル工夫ヲ加フルコトガ必要ト認メラレルノデアリマシテ、今般現在アリマスル所ノ貯蓄債券、報國債券或ハ割増金附郵便貯金切手以外ニ一定ノ者ヲシテ新規構想ニ基ク各種ノ割増金附證券ヲ發行セシメ得ルコトヲ致シマスルト共ニ、證券ノ形體以外ニ各種ノ預貯金ニ對シマシテモ、必要ニ應ジ抽籤ヲ以テ割増金ヲ付スルコトヲ得ルコトヲ致シタノデアリマス、次ニ改正ノ第二點ハ、貯蓄債券及報國債券ノ發行、償還事務ノ幅濫ヲ緩和スル爲社債原簿制度ヲ省略スルト共ニ、兩債券發行償還ノ都度、日本勸業銀行本支店所在地ニ於テ行フコトヲ要シマスル發行並ニ償還登記ヲ省略セムトスルモノデアリマス、兩債券ノ賣出成績ハ毎回極メテ順調ニ推移致シマシテ、昨年十二月迄ノ發行額累計ハ十七億八百萬圓ニ上リ、且其ノ發行額ハ逐年累増ノ傾向ヲ辿ツテ居リマス、而シテ兩債券ハ共ニ日本勸業銀行ヲシテ發行セシメテ居リマスル關係ヨリ形式上ハ一種ノ社債トナリ、商法ノ社債ニ關スル複雑ナル諸規定ハ特別ノナイ限リ當然適用サレルノデアリマスルガ、右ノ如キ實狀ニ在ル兩債券ニ商法ノ原則ヲ適用スルコトハ之ガ事務量モ莫大ニ上リ、事實上事務的の行詰リヲ來スノデアリマス、之ガ解決ヲ圖リマスルト共ニ戰時下資材、勞力不足ノ折柄、其ノ節減ニ資シマスル爲社債發行、條件變更、償還ノ都度、右ノ諸事項ヲ發行會社タル日本勸業銀行ノ本支店所在地ニ於テ登記スベキコトヲ規定シテ居リマスル商法第三百五條ノ適用ヲ除外致シ、併セテ社債發行償還ノ都度債券一枚一枚ノ番號並ニ當該年月日ヲ記入スルコト

ヲ規定シテ居リマスル商法第三百十七條ノ適用ヲ除外致スノ要アルモノト認メラレリノデアリマス、而シテ商法第三百五條ノ適用ヲ除外致シマスル結果、當然不要トナリマスル日本勸業銀行法第三十五條ノ二第四項、第五項並ニ第三十五條ノ四ノ準用ヲ除外セムトスルモノデアリマス、改正ノ第三點ハ適正、簡易、安全ナル有價證券ノ賣買機構ヲ整備セムトスルコトデアリマス、支那事變勃發以來現在迄ノ國債發行額ハ四百十億餘萬圓ニ上リマスル外、貯蓄債券及報國債券ノ發行額モ前申述べマシタル如ク極メテ多額ニ上リテ居リマスルガ、今後戰費及生産力擴充資金ノ調達ノ爲、國債其ノ他ノ證券ノ發行額ハ益々増加スルノデアリマス、之ガ消化特ニ國民大衆ノ消化ヲ圓滑化シ、且其ノ消化力ヲ促進致シマスル爲ニハ、一般國民ガ已ムヲ得ザル必要アルトキハ何時ナリトモ所有ノ國債其ノ他ノ證券ヲ適正ナル價格ヲ以テ簡易安全ニ賣却スルコトヲ得、又何時ナリトモ希望スル必要ノ種類、數量ノ證券ヲ購入シ、又ハ希望ノ證券ニ交換シ得ル機構ヲ設クルコトガ必要デアリマス、現在ニ於キマシテモ郵便局賣出國債ニ付キマシテハ必要ニ應ジ郵便局ニ於テ之ヲ買入レ、又ハ百貨店ニ於キマシテハ常時小額國債、貯蓄債券及報國債券ヲ賣却シテ居ルノデアリマスルガ、今般更ニ一層廣ク且簡便ニ國民ガ國債、貯蓄債券、報國債券等ヲ適正ナル價格且簡易ナル手續ニ依リマシテ安全ニ賣買シ得ル機構ヲ設クルコトヲ適當ト認メ、是ガ爲政府ハ金融機關、證券引受業者其ノ他命令ノ定ムル者ヲシテ一定ノ有價證券ヲ一定ノ價格方法等ニ依リ直接賣買セシメ、又

ハ政府ノ指定スル法人ノ爲ニ賣買ノ代理若シクハ媒介ヲ爲スベキコトヲ命ジ得ルコトトシ、又國債其ノ他ノ證券ヲ常時賣却セシメマスル爲ニ是等ノ金融機關等ヲシテ一定ノ種類、數量ノ證券ヲ保有セシメ得ルコトトシ、之ニ伴ヒマシテ必要ニ應ジ損失ヲ補償シ、又ハ補助金ヲ交付シ得ルコトヲ致シタノデアリマス、最後ニ改正ノ第四點ハ、必要ニ應ジ株式ヲ讓渡スベキコトヲ命令シ得ルコトトスルコトデアリマス、大東亞戰爭下株式ノ市價安定ヲ圖リ、以テ資金動員ノ適正ヲ期シ、産業資金ノ調達、國民貯蓄ノ保護ニ遺憾ナカラシムルコトノ緊要ナコトハ多言ヲ要シナイ所デアリマシテ、從來政府ニ於キマシテモ是ガ爲ニ各種ノ措置ヲ講ジテ參リ、殊ニ戰時金融庫ハ政府ノ指導ノ下ニ株式ノ市價安定ノ爲ニ必要ナル賣買操作ヲ行フテ來タ次第デアリマス、然ルニ同金庫ガ株式市價ノ適當ナル昂騰時ニ際シマシテ、之ガ抑止ノ爲ニスル賣出動ハ之ニ必要ナル株式ノ手持ガナケレバ十分ナ效果ヲ舉グルコトヲ得ナイノデアリマシテ、株價操作上萬全ヲ期シマスル爲ニハ、何時ニテモ同金庫ノ手持株式ヲ充實シ得ルノ能勢ヲ整ヘテ置クノ必要ガアルノデアリマス、又別途今議會ニ提案中ノ日本證券取引所法案ニ於テハ、場合ニ依リ新取引所ガ自ラ斯カル操作ヲ行フコトモ必要ト認メラレマスルノデ、同法中ニ之ニ關スル規定ヲ設ケマシタノニ照應シ、日本證券取引所ニ付キマシテモ、其ノ手持株式ノ補充ニ付キマシテ同様ノ必要ガアルノデアリマス、斯カル事情ニ顧ミマシテ、今般株式讓渡命令ニ關スル制度ヲ設ケ、政府ハ株式ノ市價安定ヲ圖ル爲必

要アリト認ムル時ハ、金融機關其ノ他命令ノ定ムル者ニ對シ、其ノ所有スル株式ノ一部ヲ戰時金融庫又ハ日本證券取引所ニ對シ、時價ヲ以テ讓渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得ルコトヲ致シマシタ、以上臨時資金調整法中改正法律案ノ主ナル點ヲ御説明申上ゲタノデアリマスルガ、何レモ大東亞戰爭下資金ノ蓄積、浮動購買力ノ抑制等ヲ圖リ、以テ戰時財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ確保致シマスル上ニ於キマシテ、極メテ緊要ナル措置デアアルト存ジテ居ル次第デアリマス、次ニ普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明ヲ續ケテ參リマス、本法律案ノ趣旨ハ、現下ノ經濟金融政策上、資金ノ蓄積、貯蓄ノ增強ガ最モ緊要デアリ、是ガ爲ニハ有ラユル金融上ノ施設ヲ動員シ、資金ノ吸收、特ニ大衆的預金及長期貯蓄の資金ノ吸收ニ對シマシテ、其ノ全能力ヲ發揮セシムルコトガ極メテ肝要デアアルト認メラレマスルノデ、現存金融機關中其ノ人員及店舗數等ニ於キマシテ、最モ活動力アル普通銀行等ヲシテ、貯蓄銀行業務及信託業務ヲ兼營セシメ、時局ノ要請ニ應ズル上ニ於テ遺憾ナキヲ期セムトスルモノデアリマス、本法律案ノ內容ハ、第一ニ普通銀行ガ主務大臣ノ認可ヲ受ケ、又ハ特別銀行ガ主務大臣ノ指定ヲ受ケ、ソレノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ヲ營ミ得ルコトヲ定メテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ、貯蓄銀行法又ハ信託業法中必要ナル規定ハ之ヲ兼營銀行ニモ適用スルコトヲ致シタノデアリマシテ、其ノ主ナルモノハ供託ニ關スル規定、有價證券ノ割賦販賣ニ關スル規定、運用ノ方法ノ

特定セザル金錢信託ニ付元本ノ補填又ハ利息ノ補足ヲ爲シ得ルコトニ關スル規定、兼營業務ノ種類又ハ方法ニ對スル主務大臣ノ監督權ニ關スル規定等デアリマス、第二ハ合併ニ關スル規定デアリマシテ、其ノ內容ハ信託會社又ハ信託業務ヲ兼營スル銀行ガ合併スル場合、銀行ノ合併ノ場合ノ如キ簡易手續ヲ執リ得ルコト、及ビ兼營銀行ト信託會社トガ合併シ、又ハ兼營銀行同志ガ合併スル場合、合併後存續シ又ハ新設セラル、兼營銀行ハ、合併ニ因リ消滅シタル信託會社又ハ兼營銀行ノ信託ニ關スル權利義務ヲ承繼スルコト、此ノ二點デアリマス、第三ハ、本法律案ニ伴ヒ必要ト認メラレマスル他ノ法律ノ改正等ニ關スル規定デアリマス、最後ニ本法律案ノ運用ニ當リマシテハ、專營ノ貯蓄銀行又ハ信託會社ト、兼營銀行トノ間ニ於キマシテ、不當ノ競争ヲ生ゼザルヤウ十分ニ留意致シ、兼營ノ認可ノ際其ノ兼營業務ノ種類及方法等ニ付キマシテ、適當ト認メラレリ調整ヲ加ヘタイ考デアルノデアリマシタニ別ノ法律案ニ移リマシテ、銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案、此ノ法律案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、此ノ銀行ノ事務ノ簡素化ノ法律案ハ、銀行其ノ他ノ金融機關ノ事務ノ簡素化ヲ圖ルコトニ依リマシテ、是等金融機關ヲシテ愈々其ノ機能ヲ發揮シ易カラシメ、以テ戰時下國家財政及金融ノ圓滑ナル運営ニ資セムトスルモノデアリマシテ、其ノ主ナル內容ハ之ヲ三ツニ分ツコトガ出來ルノデアリマス、第一ハ金融機關ノ事業年度ヲ、政府ノ會計年度ニ合致セシメムトスルモノデアリマス、從來銀行其ノ他ノ金融機關ノ事業年度ハ、相當區々ト相成ツテ居リ、或者ハ政府ノ會計年度ト一

致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ他ノ大多數ノモノハ曆年主義ニ依ッテ居ルノデアリマシテ、政府ノ會計年度トノ間ニ完全ナル一致ヲ缺イテ居タリデアリマス、然ルニ豫算ハ勿論資金計畫、物資動員計畫、生産力擴充計畫等、國家財政及經濟運営ノ基礎タルベキ諸計畫ハ、何レモ政府ノ會計年度ヲ基礎トシテ樹立制定セラレルコトト相成ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ爲是等計畫ノ立案ニ當リマシテハ、常ニ金融關係ノ諸資料ヲ、政府ノ會計年度ニ引直ス必要ヲ存シタリデアリマス、又金融機關ガ是等諸計畫ニ對應シテ、具體的ナ實施計畫ヲ樹立シ、若シクハ是等ノ諸計畫ニ即應シテ其ノ業務ヲ運営シテ參リマス爲ニハ、何レモ是等ノ諸計畫ヲソレノ事業年度ニ引直ス必要ガアッタノデアリマス、其ノ爲政府ト致シマシテモ亦金融機關自身ト致シマシテモ、種々煩雜ナル手數ヲ要シタルデアリマスルガ、茲ニ此ノ缺陷ヲ是正スル爲ニ、金融機關ノ事業年度ニ付キマシテハ、總テ之ヲ政府ノ會計年度ト合致セシメルコトトシ、以テ金融機關等ノ事務ノ簡素化ヲ圖リ、併セテ右ニ申述ベマシタル諸計畫ノ立案及實施ノ圓滑ヲ期スルコトト致シタ次第デアリマス、尙今回ノ改正ハ、現在其ノ事業年度ガ政府ノ會計年度ト合致シ居ラザル金融機關ニシテ、法律ヲ以テ事業年度ノ規定ヲ設ケ居ルモノニ付テノミ、之ヲ行フコトトシ、其ノ他ノ金融機關ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ事業年度ノ定メアルモノハ命令ヲ改正シ、ソレ以外ノモノハ定款ヲ改正セシメルコトニ依リ總テノ金融機關ノ事業年度ヲ、政府ノ會計年度ニ合致セシメルコトト致シタイト存ズルノデアリマス、

第二ハ擔保附社債ノ擔保ノ變更手續ニ關シ、擔保附社債信託法ニ對スル特例ヲ設ケムトスルモノデアリマス、現行法ニ依レバ、擔保附社債ノ擔保ノ變更ニ付キマシテハ、事ノ輕重ニ拘ラズ總テ社債權者集會ノ決議ニ依ラナケレバナライコトト相成ッテ居リ、而シテ此ノ變更ノ決議ハ、記名債券ヲ有スル者及ビ無記名債券ヲ有スル者デアリマシテ、會日ヨリ一週間前ニ債券ヲ會社ニ供託シタル者ノ半數以上ニシテ、社債總額ノ半數以上ニ當ル社債權者ガ議決權ヲ行使スルコトヲ要スルノデアリマス、斯クノ如クデアリマシテ其ノ爲ニ受託會社ハ屢單純ナル擔保ノ變更ノ爲ニ煩瑣ナル手數ヲ費シテ、社債權者集會ヲ召集セザルヲ得ナカッタノデアリマス、然ルニ最近ノ實情ニ於キマシテハ企業ノ整備、統合ガ頻リニ行ハレ、或ハ一會社ノ設備ガ他ノ會社ニ譲渡セラレ、或ハ數會社ノ設備ヲ合シテ一會社ヲ設立スル等ノ事例ヲ多數見テ居ルノデアリマス、而シテ其ノ結果社債ノ擔保ニ付キマシテモ、變更ヲ要スル場合ガ屢、生ジテ來ルノデアリマスルガ、斯カル際ニ當リマシテ一々煩瑣ナル手數ヲ費シテ社債權者集會ヲ召集シテ居リマシタルデハ、戰時下急速ヲ要スル企業整備ノ必要ニ應ジ得ナイ虞モアルノデアリマス、而モ是等ノ場合ニ於キマシテ概ネ分離セラレタル擔保ニ付キマシテハ、適當ナル對價ヲ取得スルノデアリマシテ、之ヲ社債ノ擔保トシテ追加スル等ノ方法ヲ講ジマス時ハ、社債權者ノ利益ノ保全ニハ支障ナイ場合ガ多イノデアリマス、仍テ當分ノ内茲ニ擔保附社債信託法ニ特例ヲ設ケ、受託會社タル金融機關ノ變更後ニ於ケル擔保ノ價格ガ未償還社債ノ元利金ヲ擔保スルニ

十分ナリト認メマス場合ニ於キマシテハ、擔保ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルコトヲ以テ足り、社債權者集會ノ決議ヲ必要トセザルコトニ改メ、以テ受託會社タル金融機關ノ事務ヲ簡素化シ、時局ノ要請ニ基ク社債擔保變更ノ手續ヲ簡易ニセムトスルモノデアリマス、簡素化ノ第三ハ銀行及保險會社ノ監査役ガ監査書ヲ作成スベキ回数、毎事業年度ニ付一回ト爲サムトスルモノデアリマス、銀行及保險會社ノ監査役ハ從來毎事業年度ニ付二回、即チ銀行ニ付キマシテハ三箇月ニ一回、保險會社ニ付キマシテハ六箇月ニ一回監査書ヲ作成スルコトヲ必要トシタルデアリマスルガ、近時金融機關ノ内容ハ十分堅實トナッテ參ッテ居ルノデアリマシテ、右監査書ノ作成回数ヲ毎事業年度ニ付一回ニ減少セシメルモノ何等支障ナシト認メラレトシ、以テ監査役ノ行フベキ事務ノ簡素化ヲ圖ルコトニ致シタルデアリマス、以上ハ銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案ノ内容デアリマス、次ニ戰爭死亡傷害保險法案、此ノ法案ニ付キマシテ、御説明ヲ致シマス、大東亞戰爭ノ前途ヲ按ジマスルニ、戰局ハ今後一段ト擴大進展致スベキモノト考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、之ニ伴ヒマシテ戰爭ニ因ツテ國民ガ死亡シ、又ハ傷害ヲ被ル危險モ今後尠クナイト思ハレルノデアリマス、而シテ戰爭ニ因リマシテ生ズベキ國民ノ死亡傷害ニ對處スル施設ヲ完備致シマスルコトハ、戰時下ニ於ケル國民生活ニ何等ノ不安ナカラスシメ、國民ノ士氣昂揚及ビ民心ノ安定ニ資スル共ニ、戰場タルト銃後タルトヲ問ハズ、國民ヲシテ後顧ノ憂ヒナク、各其ノ職域ニ於テ任務ヲ

完フセシメ得ル所以デアリマシテ、此ノ曠古ノ大戰爭ヲ完遂致シマスル上ニ誠ニ喫緊ノ要事ト申サネバナラスノデアリマス、政府ニ於キマシテハ茲ニ深く想ヒヲ致シ、戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對シマシテハ豫テ種々方策ヲ講ジテ參ッタルデアリマシテ、國家ノ行フ給與ノ制度ト致シマシテハ現在軍人等ノ戰死傷ニ對スルモノノ外、戰時災害保護法及防空從事者扶助令ニ基クモノ等ガアルノデアリマス、併シナガラ是等ノ制度ハ何レモ國家ノ一方的給與デアリマス關係上、其ノ給與額等ニハ自ラ限度ガアリ、各人ノ生活ノ實情等カラ見テ必ズシモ十分トハ申サレヌ場合ガ尠クナイト思ハレルノデアリマス、又保險ノ方面ニ於キマシテハ、戰爭ニ因ル死亡ニ對シ生命保險金及簡易生命保險金ノ支拂ガ現在行ハレテ居ルノデアリマスルガ、其ノ制度ノ建前ガ戰爭危險ノミヲ保險スル仕組ニハナッテ居ラズ、從テ之ヲ戰爭保險制度トシテ見マスル時ハ種々ノ點ニ於テ缺クル所ガアルノデアリマス、次ニ傷害ニ對シマシテハ戰爭危險ヲ擔保スル旅行傷害保險ガ、一部ノ損害保險會社ニ依リ行ハレテ居ルノデアリマスルガ、普通ノ營業トシテ行フモノデアリマスルカラ保險料ガ高率デアリマスルト、戰爭危險ノ擔保ニ對スル國民ノ需要ヲ充スコトガ出來ナイノデアリマス、斯ク見テ參リマスルト戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對スル施設ハ現在行ハレテ居リマスモノノミヲ以テシマシテハ、必ズシモ全シタルコトヲ得ナイノデアリマシテ、殊ニ今後ニ於ケル戰局ノ一段ノ擴大進展ニ想ヒヲ致シマスル時ハ、此ノ際速カニ新ナル施設ヲ講ズルコトガ極メテ緊要ト申サネバナラスノデアリマス、仍テ茲ニ戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對

シ特別ノ保險制度ヲ設ケルコトト致シタ
次第アリマス、本法案ノ要點ニ付キ是ヨ
リ御説明ヲ申上デマス、第一、本保險ハ戰
争ノ際ニ於ケル戰鬪行為、又ハ之ニ關聯ア
ル事件ニ因ル死亡傷害ノミヲ保險事故トス
ルモノデアリマス、第二ニ本保險ノ保險者
ハ政府ノ指定スル保險會社ト致シマスル
共ニ、本保險契約ノ手續ハ之ヲ普通ノ場合
ニ比シテ簡易ニシ、以テ本保險ニ加入スル
者ノ便宜ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、
第三ニ、本保險ノ被保險者、保險金受取人、
保險金額、保險料、保險期間等ニ付キマシ
テハ、命令ヲ以テ之ヲ定メルコトトシ、本
保險ノ公的性質ニ鑑ミ、其ノ仕組ハ保險會
社ガ普通ノ營業トシテ行フ保險トハ著シク
趣ヲ異ニ致シタノデアリマス、第四ニ、本
保險ハ純然タル公的性質ヲ有スルモノデア
リマシテ、保險會社ガ普通ノ營業トシテ行
フ保險トハ全ク性質ヲ異ニスルモノデアリ
マスカラ、保險會社ガ本保險ニ依リ損失ヲ
受ケマシタル時ハ、政府ニ於テ之ヲ補償致
シマスルト共ニ、利益ヲ得マシタル時ハ之
ヲ政府ニ納付セシメルコトト致シタ次第
アリマス、最後ニ鹽專賣法中改正法律案、
此ノ法律案ニ付キマシテ御説明致シマス、
鹽ガ食料用及工業用トシテ極メテ重要ナ物
資デアリマスルコトハ申ス迄モナイ所デア
リマスルガ、特ニ食料鹽ハ他ニ代用品ノナ
イ國民生活ノ最低限度維持ノ爲、絕對缺ク
コトノ出來ナイ必需物資デアリマスルノデ、
之ガ供給ハ是非共確保致サナケレバナラナ
イノデアリマス、從ヒマシテ政府ハ夙ニ内地
製鹽事業ノ維持發達ニ力ヲ用ヒマスルト共
ニ、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲及支那等、
近海各地ニ於ケル鹽生産力ノ擴充ヲ圖テ參

リマシタル結果、是等各地ニ於ケル鹽ノ供
給力ハ著シク増強サレルニ至ツタノデアリ
マスルガ、時局ノ進展ニ伴ヒ、海上輸送力ノ
關係等ニ依リマシテ、内地ニ於ケル鹽ノ需
給ハ相當窮屈ナルヲ免レナイ狀況ニ在ルノ
デアリマス、是等ノ情勢ニ對應致シマシテ、
昨年一月以降、鹽ノ販賣ニ關シ、割當制度
ヲ實施スル等、其ノ需給ノ調整ニ努メテ參
タノデアリマスルガ、今回更ニ鹽需給ノ安
定ニ資スル爲、左ノ諸點ニ付キマシテ鹽專
賣法中ニ改正ヲ加フルコトニ致シタ次第
デアリマス、改正ノ骨子ハ大體四點デアリ
マスルガ、以下簡單ニ御説明致シマスレバ、改
正ノ第一點ハ鹹水ノ用途制限ヲ緩和スルコ
トデアリマス、御承知ノ通り我が國內地
ニ於ケル製鹽方法ハ海水ニ操作ヲ加ヘ、鹹
水ト致シマシテ之ヲ煎熬シテ鹽トスルノヲ
通常ト致スノデアリマスルガ、現在ハ此ノ
鹹水ハ鹽製造以外ニハ使用シ得ナイコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、然ルニ鹽ノ用途
ノ中ニハ醬油釀造又ハ曹達製造等ノ如ク、
鹽ヲ再溶解シテ使用スルモノモアリマス
ルノデ、此ノ際取締上等ノ支障ナキ限り鹹
水ヲ直接使用シ得ルノ途ヲ開キマシテ、鹽
需給調整ニ資スルコトト致シタノデアリマ
ス、改正ノ第二點ハ、鹽又ハ鹹水ノ製造
廢止ニ付政府ノ許可ヲ要スルモノトスルコ
トデアリマス、鹽又ハ鹹水ノ製造ハ現在一
箇月以前ニ申告致シマスレバ、自由ニ之ヲ
廢止シ得ルコトニナツテ居リマスルガ、斯
クテハ鹽又ハ鹹水ノ生産確保上不適當デア
リマスルカラ之ヲ改メマシテ、鹽又ハ鹹水
ノ製造廢止ニ付、政府ノ許可ヲ要スルモノ
ト致シタノデアリマス、第三點ハ鹽又ハ鹹
水ノ製造者ニ對シ罹災補償ノ制度ヲ設ケル

コトデアリマス、鹽田ハ其ノ性質上海濱ニ
位シマスル關係上高潮、海嘯等ノ危險モ尠
クアリマセヌノデ、鹽又ハ鹹水ノ製造者ガ
是等災害ニ因リマシテ、其ノ製品ノ滅失或
ハ損傷又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ損害ヲ蒙リ
マシタ場合ニハ、製造者ニ對シマシテ損害
ノ一部ニ相當スル補償金ヲ與フルコトト
シ、以テ製造事業ノ安定ヲ圖ルコトト致シ
マシタ、改正ノ第四點ハ鹽製造者等ノ共同
活動ヲ促進セシメ、鹽生産ノ増強ヲ圖リマ
スル爲ニ鹽業團體ノ機構ヲ確立スルコトデ
アリマス、現在ニ於キマシテモ鹽業團體ノ
組織ガアルノデアリマスルガ、是等團體
中ニハ産業組合タルモノ、工業組合タルモ
ノ、工業小組合タルモノ、又ハ單ナル中合
組合タルモノ等ガアリマスルガ、是等ニ對
シマシテ製鹽用ノ資金、資材及勞力ノ供給
ヲ一層圓滑ナラシメマスルト共ニ、其ノ共
同活動ヲ益、強化促進セシメ、以テ鹽生産ノ増
強ヲ圖ル爲、此ノ際ニ是等團體ニ對シマシテ、
鹽業ノ實體ニ適合シタ統一的人格ヲ與ヘ
マシテ、製鹽事業ノ改善發達ニ資スルコト
ト致シマシタ次第デアリマス、以上御説明
申上デマシタル七件ノ法律案ニ付キマシテ
ハ、何卒御審議ノ上、速ニ御贊成アラムコ
トヲ希望致シマス

シテ戴ク方ガ便利カト考ヘマス
○委員長(伯爵橋本實斐君) 三井サシノ御
發議、私モ異存ゴザイマセヌガ、ソレヨリ
先ニ何カ調査上ノ御必要ナ資料ガゴザイマ
スレバ……
○三井清一郎君 今度此ノ預金、貯金其ノ
他ニ關係ノ中ニ、納稅團體ヲ公的ニ認メテ
納稅ヲ完全ナラシメ、又ハ納稅ノ準備金ヲ
預金セシメルト云フ省令其ノ他ノ要綱ガア
リマス、元來滯納其ノ他ガドノ程度ニアツ
カ、御調ニナリマシタモノガアリマシタ
御參考ニ戴イテ置キタイト思ヒマス
○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデヤ若シ
段々審議シテ參リマス中ニ、又御必要ガ生
ジマスレバ御申出ヲ願ヒマス
○下村宏君 是ハ他ノ方デスガ、臨時資金
調整法中ノ命令デ、貯蓄債券、報國債券以
外ノモノノ割増ヲスル規定ナドアリマスガ、
サウ云フ方ノ命令ニ讓ツテアルコトデ、腹案
ノ出來タモノガアレバ頂戴致シタイト思ヒ
マス
○委員長(伯爵橋本實斐君) 只今下村サシ
ノ御申出ガアリマシタガ、御出來ニナリマ
シタラドウゾ……ソレデハ先程三井委員カ
ラ御申出モゴザイマシタシ、本委員會ニ付託
セラレマシタ七ツノ法案ノ審議上ノ便宜ニ
資スル爲ニ、皆様ノ御異議ガナケレバ三井
委員ノ御申出ノヤウナ取扱ヲ致シタイト思
ヒマスガ、宜シウゴザイマセウカ……三井
委員ニ更メテ伺ヒマスガ、モウ一度件名ヲ
仰ツシヤッテ戴キタウゴザイマス
○三井清一郎君 國民貯蓄組合法中改正法
律案、納稅施設法案、臨時資金調整法中改
正法律案、普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ
信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案、此ノ四件

ハ根本ノ目的ハ預金、貯金ニアル、故ニ是ハ一括シテ一ツ議題トシテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ只今三井委員ノ仰セノヤウナコトデ御異議ガゴザイマセヌケレバ、委員長ニ於テモ其ノ方ガ便宜ト心得エマスカラ左様致シタイト思ヒマス

○公爵一條實孝君 是ハ改正法律案デスカラ現行ノ法律案ヲ政府カラ御出シ下サイマスカ、例ヘバ國民貯蓄組合法ト云フヤウナモノヲ刷ツタモノデモ下サイマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 御審議ニ御便宜ノヤウナモノヲ差上ゲタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ審議上便宜ノモノデ、御出來ニナリマスカモノハ取揃ヘテ御提出ヲ願ヒマス

○滋澤金藏君 私モチヨット資料ヲ御願ヒシタイノデアリマスカ……

○委員長(伯爵橋本實斐君) 御申出ヲ願ヒマス

○滋澤金藏君 國民貯蓄組合ガ出來マシテカラ逐年ドレ位迄ニ貯蓄ガ出來テ居リマスカ、其ノ表ヲ一ツ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ尙普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ニ關スルコトデアリマシテ、是ハ全國的ニ集計シタモノデ結構デゴザイマスカ、普通銀行ノ預金ト、ソレカラ貯蓄銀行ノ各種ノ貯金、預金、ソレト信託預金ノ額ガ分リマシタラ適當ナ年度デ宜シウゴザイマスカ、今カラ五年位前カラノ表ガ戴ケマシタラ御願ヒシタイト思ヒマス、ドウゾ委員長ニ御取計ヲヒヲ願ヒマス

○子爵上原七之助君 鹽ノコトガ近來頻リ

ニ申サレマスカ、鹽ノ需給數量ニ關シマシテ、若シモ資料ガ頂戴出來マシタラ戴キタイト存ジマス、共榮園内バカリデナク、世界各國モ併セテ頂戴出來レバ結構デゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 只今ノ御話ノ點ハ總動員ノ機密物資ニナッテ居リマス關係ガゴザイマス、ソレニ觸レマセヌ限リデ御希望ノヤウナモノヲ整ヘタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ大體資料ノ御要求ハ此ノ程度デ、御異議ガゴザイマセヌケレバ只今議題ニ供シマシタ四件、ソレニ付キマシテ大體ノ御質疑ガゴザイマスレバ、此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス

○三井清一郎君 戦力増強ノ必要上、刻下國民ハ無駄ヲ省イテ預金貯金ヲ爲シ、以テ戰費ノ充實ニ資スルト云フコトハ當然過ギル程當然デ、今日ノ時局ヲ眞ニ認識シテ居タナラバ、大藏大臣ガ斯ウ云フ案ヲ御出シニナラヌデモ預金貯金ハシテ、豫想サレタ額以上ニアルモノト我々ハ考ヘルノデアリマスカ、總理大臣ハ何時デアリマシタカ、此ノ戦力増強ノ爲ニ強權ヲ發動シナイ、國民ノ眞ノ理解ヲ以テ進ムト云フ御意嚮ヲ御漏シニナッテ、國民ノ財産ノ權利義務ニ立入ッテ迄法制預金ヲセシメス、貯金ヲセシメスト、無論是ハ強制デハアリマセヌガ、法律デ斯ウ云フ規定ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ我が日本帝國國民トシテ誠ニ遺憾ニ堪ヘナイト考ヘル者デアリマス、併シ今日迄ノ事實ガドウシテモ斯ウ云フ法律ノ改正ヲ以テシナケレバ、希望ノ點ニ預金其ノ他ガ達シナイトスレバ、誠ニ已ムヲ得ナイ次第デアリマシテ、何等我々ガ此ノ點ニ付テ彼此申ス次第デハ

アリマセヌガ、間々此ノ預金貯金ノ獎勵手段ガ度ヲ過ギテ、我々モ隣組ノ組長ヲ自ラ經驗シタイ意味デ半年バカリヤッテ見タノデアリマスカ、ドウモ割當ガ度ヲ過ギテ、常會ヲ開イテモ家計簿ハ皆赤クナッテ居ル、是デドノ裕リヲ以テ預金ガ出來マスカト云フヤウナコトガアルノデアリマス、此ノ預金貯金ノ獎勵ニ付テモ政府ハ相當狙ヒ所ヲ定メラレテ、國民一般ニ獎勵セラレルトカ、生活ヲ脅カス程度ニ至ラシメズ、又例ヘバ農村デ御承知ノ産業組合中央金庫ハ六十萬圓ノ資金ヲ以テ十一萬圓ノ貸出シ、十一萬圓ノ公債、アト四十萬圓近ク尙持ッテ、其ノ組織ガ中央ト或ハ府縣ト二重組織ニナッテ、經費モ高マッテ居ル、斯ウ云フ點モ改正ヲシタナラバ今日農村ノ増産獎勵カラ出ル所ノ預金ト云フモノハ相當吸收出來ルノデハナイカト思フ、或ハ株式ガ無暗ニ騰貴スル、事實騰貴スベキ原因ガアッテ騰貴スルナラ勿論宜イノデアリマスカ、資金ヲ株ニ投ズルト云フ所カラ株式ガ騰貴スルトシタナラバ、是等ノ方ニモ裕リガアルノデハナイカ、又軍需工場ナドノ社内保留ガ多キニ過ギルノデハナイカ、色々ノ疑問ガ國民間ニアルノデアリマスカ、是等ニ付テモ一ツ斯ウ云フ國民ノ疑ヲ晴ラス上ニ付テ、相當御調査ニナッテ居ルコトト信ジマスカ、或程度ノ公表ヲナサレテハ如何カト思ヒマスカ、無論是ハ公表スベキデハナイト言ハレ、バ、答辯ノ限リニ非ズト云フコトニナリマスカレドモ、其ノ點ハ一ツ一般的デ宜シウゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 今日ノ場合ニ資金ノ蓄積、國民貯蓄ノ増強ト云フヤウナコトヲ、戦時ノ財政經濟ノ中核ト致シテ參ッテ

居リマスカトニ付キマシテハ、十分御理解ヲ戴イテ居ルト存ズルノデアリマスカ、國民貯蓄ノ増強ニ付キマシテハ、只今御話ノ如ク總理大臣モ申サレタ通りニ、根本ニ於テ強制ヲ致スト云フコトハ、是ハ只今迄其ノコトハ致シテ來テ居ラナイノデアリマシテ、法律ヲ以テ強制シテ貯蓄ヲ行ハシメルト云フヤウナコトハ、今後モ之ヲ行フト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯貯蓄ニ關シマスル色々ノ法律案ガ出ルノデアリマスカ、之ニ付キマシテハ個人ノ貯蓄ニ關スル熱意ヲ育テ上ゲテ參リマシテ、出來上リマシタ貯蓄ヲ安全ニ之ヲ確保シテ行クト云フヤウナ方面ニモ、色々立法ノ必要ガ出テ參ッテ來テ居ルノデアリマス、國民貯蓄組合ノ如キモノモ、之ニ依リマシテ貯蓄ノ増進ヲ圖ルト共ニ、此ノ出來上リマシタ貯蓄ヲ確實ニ管理スル、ソレカラ又貯蓄心ヲ誘導シテ行ク方面ニ於キマシテモ、今回御審議ヲ願ッテ居リマスル臨時資金調整法中ノ改正法律案ト云フ方面ニモ、サウ言ッタヤウナ貯蓄心ヲ進メテ行クト云フガ爲ノ立法ノ手段モ含マレテ居ルノデアリマシテ、今後色々貯蓄心ヲ又新シク刺激發動サセルト云フヤウナ方面カラ、立法ノ必要モ生ジテ來ルカト思ハレルノデアリマスカ、要シマスルニ直接強制ト云フコトノ方途ニハ向ヒマセヌデ、根本ノ建前ハ任意ノ貯蓄ト云フコトニ致シマシテ之ヲ誘導シ、又出來上リマシタ貯蓄ヲ確保スルト云フヤウナ方面ニ色々ノ措置ヲ講ズルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、又仰セニナリマシタ隣保消化等ノ方法ニ付キマシテハ、色々部分的ニハ實際上ノムヅカシイ問題ガアルカト思フノデアリマスカ、一面是等ノ各個

人ニ出來ルダケ生活費ヲ切り下ゲマシテ、貯蓄ノ増強ヲ御願ヒ致シマス同時ニ、御指摘ニナリマシタヤウナ方面ノ、農村金融機構ノ改善ト云フヤウナ方面ニモ著目シナクレバナラヌト云フコトハ誠ニ御同感デアリマス、此ノ方面ニモ今回ノ議會ニ於キマシテ、團體組織ノ法律案ガ出テ居ルノデアリマスガ、是等ノ團體ノ形成發達ノ指導等ニ際シマシテハ貯蓄ノ増進ニ妨ゲノナイヤウニ、寧ロ之ヲ十分促進シテ行クヤウニ取計ラッテ参リタイト云フコトヲ切ニ考ヘテ居ルノデアリマス、株式ノ方面ニ資金ガ集リマシテ、ソレガ其ノ方面ニ投機的ノ波紋ヲ描キマス云フコトハ、國民貯蓄ノ増強上ニ甚ダ好マシクナイコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ我々ト致シマシテハ、出來ルダケ配慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、適當ナル投機ノ行ハレテ居リマス場面ニ對シマシテハ、之ヲ抑制スルト云フガ爲ニ直接間接ノ指導ノ方法ヲ執ッテ來テ居ルノデアリマス、今後共此ノ方面ニ付キマシテハ、

適當投機ノ抑制ト云フコトニ付キマシテハ十分注意ヲ致シマシテ、其ノ方面カラ國民ノ貯蓄増強心ヲ阻害スルガ如キコトノナイヤウニ十分配慮シテ参リタイト思フノデアリマス、ソレカラ軍需産業方面ニ於キマスル此ノ貯蓄ノ増強推進ニ付キマシテハ、是ハ特別ニ意ヲ用ヒテ居ルノデアリマシテ、國民貯蓄ノ増強ノ指導等ニ付キマシテハ特ニ此ノ方面ニ組合ノ結成ナリ、又貯蓄ノ制度等ヲ強化サセルヤウニ指導致シテ居リマシテ、軍需工業方面ノ會社ノ役員達ニモ十分ノ理解ヲ得、特ニ力ヲ用ヒテ居ルヤウナ關係ニ相成ッテ居ルノデアリマス、要シマスルニ最初御話ノゴザイマシタヤウニ、強制

ト云フコトハ根本ノ建前ニ致シテ居ラナイノデアリマシテ、大體國民ノ任意ナル貯蓄心ニ俟ッテ云フ建前ニ於キマシテ貯蓄ノ増強ヲ圖ッテ居ルノデアリマスルガ、農村、株式、軍需工業、ソレ等ノ方面ニモ特ニ注意ヲ致シマシテ、全體ノ出來ルナラバ無理、摩擦ノ起リマセヌヤウニ十分注意ヲ致シマスコトニ付キマシテハ、今後モ怠ラナイ考ヘデゴザイマス

○下村宏君 普通銀行ノ貯蓄銀行業務信託業務ノ兼營ニ關スル此ノ法律案ニ付テデアリマスガ、大體在來ヨリモ普通銀行ガ段々合同シテ鞏固ニハナッテ來テ居ルカラ、在來ノヤウナ懸念ハ薄ライデ來テ居リ、ソレコヘ斯ウ云フ時局デ段々合併シテ、ソレニ依ッテ物資ナリ人ナリノ節約ト言ヒマスガ、サウ云フコトガ矢張り斯ウ云フ法案ガ出タ重點デハナイカト思ヒマスガ、重ネテ此ノ法案ノ出タ趣旨ヲ御説明願ヒタイ、ソレカラ元ハ細カイ銀行ガ地方等ニ澤山アッデ……田舎ナドニ親銀行トソレニ伴フ貯蓄銀行ガアッテ、其ノ親銀行ガ隨分放漫ナ放資等ヲシテ、果テ貯蓄銀行ニ及スヤウナ時代ガアッテ、貯蓄銀行ハ貯蓄銀行デ、其ノ預金ノ放資其ノ他ニ特殊ナ制限ヲ受ケテ居リナガラモ、曾テハ隨分貯蓄銀行ノ破綻ト云フヤウナコトガアッテ、近頃ノヤウニ銀行ガ皆合同サレテ來ルト、モウサウ云フ懸念ハ無論ナイト思フノデスガ、是ハ極ク念ヲ入レルト此ノ時局モ濟ミ、又或反動時代デモ來ルト云フヤウナコトデ、其ノ普通銀行ノ業務ノ上ニ何カ懸念デモ起ルト、ソコニ兼營サレテ居ル貯蓄銀行ノ仕事ニモ亦懸念ガ起ッテ來テ、貯蓄ヲシテ居ル多數ノ者達ニ可ナリノ不安ノ念ヲ抱カセタ

リ、不祥ナ事ガ絶對ニ起ラストモ言ヘナイノデス、少シ馬鹿念ニナルカモ知レスガ、無論普通銀行ノ業務或ハ信託業務、ソレノニ付テ確乎タル分界ヲ立テ、ソレノノ取扱ノ方法ガ皆立ツコトハ思フノデスガ、兎ニ角一ツノ銀行ノ中デ兼營テヤルト云フコトニナルト、同ジヤウナ懸念ガ自然冠サツテ來ルヤウニモ思ハレル、是等ニ對シテノ當局ノ用意ト言ヒマスガ、所信ノ程モ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ此ノ法案ヲ出シタ趣旨ハ自然サウ云フヤウニシテ、貯蓄銀行ト云フモノハ段々獨立シタモノハ認メスト云フ方針ニナッテ居ルヤウデ、恐ラクハ多クノ貯蓄銀行ハ同ジ系統ノ親銀行ノ普通銀行ヲ持ッテ居リマスカラ、段々其ノ方デ兼營サレル、ソレヲ當局ハ支持サレテ居ルノデヤナイカト思フノデス、サウスルト是カラ後ニ貯蓄銀行ノミヲ營ムト云フ新シイ申請ガ出ルト、ソレハマア、成ルベク認メナイト云フ方針デアルカ、自ラサウナルノデハナイカト思ハレルノデス、サウシテ獨立シタ貯蓄銀行ガ段々少クナッテ來ル、極メテ限ラレタ三四ノ貯蓄銀行ダケノ爲ニ貯蓄銀行法ガ殘ルト云フヤウナ時來ルノデヤナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデス、矢張り將來普通銀行ガ貯蓄銀行ヲ兼營スルコトハ兼營スルデ認メルガ、獨立シタ貯蓄銀行ハ大體既設ダケニ限ル方針デアリマスガ、矢張り在來通り貯蓄銀行法ニ依ッテ認メテ行クト云フコトニナルノデセウカ、ソレ等ノ點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、又ソレニ關聯シテ何カ御心附ニナルコトガアレバ併セテ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(山際正道君) 取敢ズ私カラ大體ノコトヲ御答ヘ申上ゲマシテ、尙足ラザル所ハ後刻補フヤウニ致シタイト思ヒマス、最初ニ御尋ノ普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ヲ今回提案スルニ至リマシタ趣旨ハ、果シテドノ邊ニアルノデアルカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ其ノ趣旨ニ於キマシテハ只今御話ノ通りデゴザイマス、即チ此ノ時局下ニ於キマシテ資金ノ吸收ノ爲ニ有ラユル手段ヲ盡スト云フコトガ、最モ必要ナ事柄ト思ヘルノデゴザイマス、其ノ爲ニハ國民ヲシテ成ルベク同ジ場所デ、其ノ好ム所ノ形態ノ貯蓄ヲ何デモ用ガ辨ジ得ルヤウニスルト云フコトガ、其ノ貯蓄増強ノ上ニ效果ガ尠クアルマイト考ヘルノデアリマス、其ノ意味カラ申シマスルト、現在各種ノ金融機關ノ中ニ於キマシテ、普通銀行或ハ特別銀行ガ其ノ店舗ノ數ニ於テモ、亦其ノ從事致シテ居リマスル職員ノ數ノ上カラ申シマシテモ最モ餘裕ニ富ミ、又能力ニ長ジテ居ルノデゴザイマスノデ、此ノ機關ヲ動員致シマシテ、尙此ノ貯蓄預金或ハ長期ノ貯蓄ナル資金ノ吸收ニ働カセマシタナラバ、其ノ效果ハ見ルベキモノガアルデアラウト云フノガ、是等ノ銀行ヲシテ貯蓄業務信託信託業務ヲ扱ハシメヨウト云フ積極ナ理由デゴザイマス、尙他面ニ於キマシテ只今御話ノ如ク、段々資金ノ吸收ヲスル爲ニハ、店舗ヲ増設シ、従事員ヲ増サネバナラヌノデアリマスルガ、半面ニ於テ時局ノ要請上物資人員等ガ思フニ委セヌ事情モアリマスノデ、相成ルベクソレ等ノ物的施設、人的要員ヲ節約スル意味ニ於キマシテ、成ルベク一ツノモノニ澤山ノ種類ノ仕事ヲ取扱ハセルト云フ趣旨ニ於テ此ノ働キ

ヲ持タセルト云フコトガ、將來ニ備ヘル途デアラウト考ヘマシタコトガ、又理由ニ相成テ居ルノデゴザイマス、今日御示シノ如ク、普通銀行ノ内容ハ往時ニ較ベマスレバ誠ニ隔世ノ感ガアル程度ニ改善ヲ見テ居リマス、固ヨリ時局ノ影響モゴザイマセウガ、今日其ノ内容ニ關シマシテ懸念ヲ要スルモノハ一ツモナイノデゴザイマス、是ハ私が監督ノ立場ニ居リマシテ、明カニ申上ゲテ宜シイト思フノデゴザイマス、而シテ是等ノ機關ニ對シマシテ政府ハ、極力國民ガ其ノ勤勞ノ結果デアアル貯蓄ヲ預入レルコトヲ奨メテ居ルノデアリマスルカラシテ、政府ト致シマシテモ是等機關ヲ健全ニ維持シテ行クト云フコトニ付テハ、最も深い關心ヲ持チ、又最も重大ナル責任ガアルノデゴザイマス、此ノ意味ニ於キマシテ彌ガ上ニモ是等銀行ノ内容ニ關シマシテハ、常時監督ヲ怠ラヌヤウニ努メテ居ルノデゴザイマス、ノミナラズ御承知ノ通り、一昨年大東亞戰爭ガ勃發致シマシタル當時直チニ大藏省ト致シマシテハ、非常金融對策ナルモノヲ實施致シタノデゴザイマス、其ノ内容ノ一ツニ、從來ノ事例ニ於キマシテハ動モスルト非常ノ際ニハ預金ノ支拂ヲ停止スル、所謂「モラトリアム」ノ措置ヲ執ツタ事例モアルノデアリマスガ、今後ハ絕對ニ左様ナ事態ハ生ゼシメナイ、如何ナル事態ガ起ツデモ必ず預ケタダケノ金ヲ金融機關ガ拂戻ス爲ニハ、政府トシテハ何處迄モ金融機關ヲ援助スル、必要ナル資金ハ日本銀行其ノ他ノ發券銀行ヲシテ無制限ニ貸出サセル、デアアルカラシテ安シテ如何ナル事態ノ下ニ於テモ、預金ヲ續ケテ貰ヒタイト云フ措置ヲ講ジタノデゴザイ

マス、内容ハ先程申上ゲマシタ通り、非常ニ堅實ニナツテ居リマス上ニ、益、信用ヲ付ケマスル上ニ於テ非常對策ヲ講ジテアルノデアリマスカラ、將來ノ預金者保護ノ點ニ於キマシテハ、今日缺クル所ハ先ヅナイモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス、又時局ノ要請スル方面ニ向ヒマシテ、今日資金調整法其ノ他ニ依ツテ金融機關ノ保有スル資金ヲ運用致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ中ニハ勿論大部分ノモノガ軍需産業方面ヘ出テ居ルノデゴザイマス、ソレ等ノ事業會社等ガ、或ハ將來ノ事態ノ變遷ニ於テハ其ノ經營上ニ變更ヲ生ジテ、其ノ結果ガ延イテ銀行ノ内容ニ及ブヤウナ懸念ハナイカト云フヤウナ點ニ關シマシテハ、今日は是等ノ事業ヲ進メマスルニ付キマシテモ、單ニ金融機關ノソレ等ニ貸出シテ居リマスル債權バカリデナク、事業會社自體ノ經營ノ面ニ付キマシテモ、ソレノ國家ハ必要ナル保護ヲ加ヘ、將來ノ懸念ノナイ狀態ニ置イテ、事業ノ發達ヲ企圖致シテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマスルノデ、將來是等事業會社等ノ業績ノ激變ニ因ツテ此ノ金融機關ガ影響ヲ被ルト云フ虞ハ、今日ノ所デハ十分ニ防ギ得ル用意ガ出來テ居ルト存ズルノデゴザイマス彼此致シマシテ今回ノ法律案ニ依リマシテ貯蓄銀行業務、信託業務等ヲ普通銀行等ニ兼營致サセマシテモ、此ノ内容ノ方面又將來ニ生ズルカモ知レス事態ノ關係ニ於ケル懸念ト云フモノハ、先ヅ我々ト致シマシテハナイト云フ確信ヲ持チマシテ、此ノ法案ヲ提出致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙兼營ヲ許ス結果ハ、漸次專門ノ貯蓄銀行トナリ信託會社ナリト云フモノガ、將來ナクナツ

テ行クノデハナカラウカ、或ハ新タニ專門ノソレ等ノ機關ヲ認メル積リガアルカドウカト云フ御尋デゴザイマスルガ、此ノ法律ヲ施行致シマスル趣旨ガ、先般申上ゲマシタ通り、成ベク國民經濟的ニ考ヘマシテ、能率ノ良イ形態ニ於テ出來ルダケノ貯蓄ヲ吸收シヨウト云フ建前デゴザイマスルカラ、地方ノ貯蓄銀行トカ、信託會社トカノ實情ニ應ジテ、從來持ッテ居ル親子關係ナド普通銀行ナドト合併ヲ致シマシタ方ガ全體トシテ、其ノ人員ナリ設備ナリノ能率ノ上ニ於テ宜シイト云フモノニ關シマシテハ、將來恐ラク合併ガ實現ヲシ、又是ハ獎メテ宜シイト思フノデゴザイマス、併シナガラ大都會等ニ於キマシテ十分獨力ヲ以テ貯蓄銀行業務其ノ他ガ實行出來、又ソレガ他ニ合併スルヨリモ能率ガ宜シイト云フモノニ付キマシテハ、何處迄モソレハ專門ノ機關トシテ働イテ貰ヒタイノデゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテハ寧ろ合併シタイト云フ申出ガアリマシテモ、尙政府トシテハ獨立シテヤツテ貰フタガ能率ガ宜カラウト認メマスル場合ニハ、其ノ儘獨立ノ形態ヲ續ケテ貰ヒタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙將來專營ノ機關ヲ新タニ認メルカト云フ點ニ關シマシテハ、從來ト雖モ金融機關ノ數ニ關シマシテハ、尙整理合同ノ餘地ハアツテモ増設スル餘地ハ乏シイト云フ所カラ、新規ノ免許ハ相當以前カラ之ヲ致シテ參ラヌ狀況ニアッタノデゴザイマス、御承知ノ通り産業經濟一般ノ方面ニ於キマシテ、漸次企業ノ規模、經濟ノ態樣ガ變ツテ參リマシテ、ソレニ應ジマシテ金融機關ノ方モ、其ノ機構ノ要素ヲ調整シテ參ラネバナラヌノデアリマスルガ、

從來ノ傾向ハ主トシテ金融機關ノ數ヲ縮小スル方面ニ向ツテ參ツタノデゴザイマス、實際ノ狀況カラ申シマスルト、尙此ノ勢ハ續イテ居ルヤウニ思フノデゴザイマス、今日ノ所カラ申シマスルナラバ、金融機關ノ數ト致シマシテハ、尙減少ノ餘地ハアリマスルガ、増加ノ必要ハ比較的乏シイト思フノデゴザイマス、從ヒマシテ將來狀況ガ變化致シマスレバ格別デゴザイマスガ、現在ノ所デハ新規ノ免許ヲ與ヘルト云フコトハ相當困難ガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙御尋ニ對シテ洩レタ點モアルカト思ヒマス、恐レ入りマスガ更ニ御尋ヲ願ヒマシテ御答申上ゲタイト思ヒマス

○三井清一郎君 只今ノ御質問ニ關聯シタコトデアリマス、政府ノ御懇切ナル御答辯ニ依リマシテ非常ニ明瞭ニナリマシタ、斯ウ云フヤウニ預金者ノ便宜又銀行ノ能率増進ノ上、將來ノ銀行政策ノ上カラ斯ウ云フ案ヲ御出シニナツタコトデアルト信ジマシテ、私ハ能ク諒解致シテ居ルノデアリマスルガ、昨年デアリマシタカ、銀行ノ改正法律案ノ時ニ大藏當局ニ御尋ヲシテ、恩給金庫ヲシテ受給者ノ寄託ヲ許シテ居ルノデアアルカラ、受給者ノ預金ヲ許スト云フコトハ出來ナイカト云フ質疑ヲ致シタノデアリマスルガ、之ニ對シテハ尤モ御意見ダカラ十分研究シテ、時ヲ得タナラバ提案スルコト云フ御答辯ヲ得テ居ル、御承知ノ恩給金庫ハ七十萬ノ受給者ヲ抱ヘテ、所謂受給者ノ金庫デアアル、受給者ハ我々ノ金庫デアアル、我々が受給證書ヲ寄託ヲシ、或ハ困ル時ニハ恩給ノ規定ノ額以內ヲ借用スル我々ノ銀行デアアル、斯ウ云フ信念ガ非常ニ昂ツテ來テ、既ニ

御承知ノ通り今日恩給金庫ハ回收額ヲ引イ
テモ彼此一億ニ達セムトシテ居ルグラウト
思フノデアリマスガ、サウ云フヤウニナ
リ、既ニ寄託モ千萬圓ニ近クナラウト云フ情
勢ニアルノデアリマス、處ガ此ノ受給者ガ
金庫ヘ來テ寄託スル以外ニ、自分ノ所ニ
是ダケノ裕リガアルカラ預金ヲシタイガ、
ソレハ恩給金庫ハサウ云フ金ハ取扱フ所デ
ヤナイト云フノ失望シテ歸ル者ガ随分ア
ル、是ハ現在ノ理事者ノ方デモ御承知ノコ
トト思ヒマス、斯様ニ各普通銀行ヲシテ貯
蓄銀行ノ業務ヲ兼營セシメルト云フヤウナ
御考ニナルナラバ、是等ハ御考慮下サツテ
宜イノデヤナイカ、受給者ガ自給自足デ集
テ恩給金庫ヲ維持シテ、寄託スルト其ノ
寄託ハ御承知ノ銀行ト同様ナ利子デ預ッテ
居ル、ソレデ我々ハ銀行ノ取引デヤナイノ
ダカラ恩給金庫ダケハ自分ノ取引銀行ト
思ッテ居ルト云フ可愛イ心持ヲ活カシテヤ
テハ如何デアルカ、斯ウ思フノデスガ、其
ノ後ノ御研究ノ狀況ハ如何デアリマスカ
○政府委員(山際正道君) 恩給金庫ニ預金
ヲ、受恩給者ヲ對象トシテ開始シテハドウ
デアルカト云フ御説ハ、只今御示シノ如ク
豫テ承ッテ居ッテ所デゴザイマス、其ノ後
段々私共ノ方ニ於キマシテモ色々考案ハ致
シテ居ルノデゴイザマスルガ、未ダ實現ハ
見テ居ラスノデゴザイマス、考ヘテ居リマ
スル所ヲ申上ゲマスルト、大體ガ恩給金庫
ハ恩給債券ヲ發行致シマシテ、外部カラ資
金ヲ集メマシテ、ソレヲ受恩給者ノ中必
要ト認メラル、方々ハ融通ヲスルト云フ、
所謂資金ヲ融通スル貸付機關トシテ存立致
シテ參ッタノデゴザイマス、ソレガ漸次受
恩給者ノ便宜ヲ圖リマスル爲ニ、只今御話

ノ如ク寄託金ノ範圍ハ扱ッテモ宜イト云フ
所迄參ッテハ居ルノデゴザイマス、之ヲ更
ニ一步進メテ寄託金ニ限ラズ、一般ノ預金
迄モ取ッテラドウカト云フ點ガ今問題ニナッ
テ居ル譯デゴザイマス、成ル程資金ヲ集メ
マスル點カラ申シマスルト、如何ナル機會
ヲ利用シテモ窓口ノ多イ方ガ宜イノデヤナ
イカト云フコトモ尤モト思フノデアリマ
スガ、他面御承知ノ資金ヲ集メル機關同士
ノ間ニ於ケル一種ノ對立ト申シマスルカ、
競争ト申シマスルカ、其ノ方面カラ生ズル
弊害ト云フコトモ考ヘル必要ガアリマス爲
ニ、新シイ種類ノ機關ニ預金ノ取引ヲ認メ
マスルト云フコトニ付キマシテハ、從來相
當慎重ナ態度ヲ執ッテ參ッテ來テ居ルノデ
ゴザイマス、元來ガ申上ゲマシタヤウニ、
受恩給者ニ資金ヲ貸付ケル機構トシテ發達
ヲ致シテ參ッテ居ル金庫デゴザイマスルノ
デ、現在ノ機構ヲ以テ致シマシテハ、恩給
ヲ受ケル者ヲ對象トシテ一般ノ預金機關
トシテハ、マダ機構ノ上ニ於テモ十分デナ
イ憾モアルノデゴザイマスガ、是ハ將來ノ
此ノ金庫ノ發達ノ狀況、ソレカラ恩給金庫
ト取引ヲ致シテ居リマスル人々ノ實情等
ニ應ジマシテ、漸次更ニ其ノ問題ヲ考ヘテ
行キタイ積リデゴザイマシテ、未ダ實現ハ
シテ居リマセヌガ、尙調査研究中ニ屬スル
事項ト御諒解ヲ願ヒタイト存ジマス
○三井清一郎君 御説ハ嘗テ恩給金庫ガ出
來タ一兩年ノ際ニハ、今銀行局長ノ御話ニナッ
タヤウナコトデゴザイマシタガ、其ノ後
此ノ戰時狀況ニナリ、預金者ノ便宜ヲ圖ル、
又今ヤ進ンデ普通銀行ガ貯蓄銀行ヲ兼營ス
ルト云フ迄進ンデ行ク以上ハ、恩給者或ハ
年金者等、斯ウ云フ者ノ六、七十萬ノ者ノ

一部ガ、自己ノ銀行ダト確信シテ居ル金庫
ニ若干ノ寄託金、是ハ恩給生活者ダカラ多
額ノモノデヤナイ、便宜上取扱ッテ貰ヒタ
イト云フノデアルカラ、是ハ一ツ研究シテ
戴キタイト思フ、殊ニ此ノ恩給金庫ノ資金
ハ、今債券ヲ御承知ノ四分二厘デ發行シテ
居リマス、政府保證ヲ爲シテ四分二厘ノ債
券ヲ發行シ、其ノ他大藏省ノ預金部カラハ
時ニ依ッテ借入レラレルコトモアリマセウ
ガ、サウ多額ノ資金ヲ得ルコトハアマムツ
カシイ、從ッテ他ノ團體カラ資金ヲ求メマ
ストドウシテモ四分四、五厘ニナル、サ
ウシテ六分ニ貸付ケテ、其ノ六分ガ軍部其
ノ他ノ方面カラ高イ、早クモツト低利ニセ
ヨ、又保證料ト云フモノヲ取ッテ居ル、是
モ高過ギル、色々ノ意見ガ出ルノデアリマ
ス、此ノ際受給者ノ寄託シタ者ガ、序デニ
五百圓預ケテ行キタイ、三百圓預ケテ行キ
タイト云フコトヲ御認ニナツタカラト言ウテ、
他ノ大キナ銀行ニ對抗シテ無理ガアルトハ
我々ハ考ヘナイノデアリマシテ、サウ云
フ風ニ受給者ガ自ら預金ヲシテ、サウシテ
安イ金利ノ資金ヲ恩給金庫ガ運用シタナラ
バ金利モ下グルコトガ出來ル、又保證料モ
幾ラカ低下スルコトモ出來ルト考ヘルノデ
アリマスカラ、其ノ點ヲ一ツ十分御研究下
サツテ、既ニ一昨年デハ殆ドモウ次ノ年ニデ
モ案ヲ出スト言ハヌバカリノ御答ヲ得タノ
デアリマス、前ノ銀行局長モオイデニナリ
マスガ、大分サウ云フ風ニ話ガ進ンデ居ッ
タノデアリマスガ、其ノ點ハ一ツ決シテ大藏
省ノ不信ヲ、私ハ無理ヲ言ウテ非難スルノ
デヤアリマセヌガ、十分御研究ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

御話デアリマシテ、恩給金庫ノ資金ノ關係等
カラ考ヘテ見マシテ、只今御話ノヤウナ預金
ガ其ノ方面ニドレダケノ貢獻スルカ、又貸
出ノ利率ニ相當ノ引下ゲヲ生ゼシメルコト
ガドレダケノ働クスルカ、是ハ色々數字ノ
關係等モ研究シテ見ナケレバ確カデハナイ
ト思フノデアリマスガ、兎モ角モ恩給受給
者ガ自分達ノ金庫ト思ッテ居ル所ヘ預金ガ
出來ル便利ガアレバ宜シイト云フヤウナ、
極クサウ云フヤウナ話ハ、サウ云フコトモ
實際アルト思ッテ居リマス、御尤モダト思
フノデアリマス、併シ先程銀行局長モ申上
ゲマシタヤウニ、之ニ預金ヲ許スト云フコ
トニナリマスレバ、又ソレニ釣合ヲ取り
マシテ許サナケレバナラナイヤウナ方面モ
出來テ參ルヤウナ關係モアリマスルシ、他
ノ機關トノ競争關係ト云フヤウナモノモア
ルノデアリマシテ、前回御話ノ際ニ、或ハ
直グニモト云フヤウナ御答ヲ致シタカトモ
思フノデアリマスガ、其ノ後色々研究致シ
テ見マシタ結果、マダ見極メガ付カナイノ
デアリマス、御承知ノ通り恩給金庫ニ付キ
マシテハ、只今ノ考ヘ方トシテハ監理局ニ
其ノ仕事ヲサシテ居ルノデアリマシテ、一般
ノ預金モ取ルト云フ機關トハ稍、別ナ見方
ヲ只今ノ所デハシテ居ルヤウナ狀況デアリ
マス、併シ御話ノ點ニ付キマシテハ、實際
的ノ方面、又研究致シテ見マシタナラバ、
或ハ金庫ノ資金關係ノ方面ニ色々考究シ
ナケレバナラヌ點モアルカト存スルノデア
リマシテ、前回御答ヘ致シテ置キマシテ、
解決遷延致シテ居リマスノハ甚ダ恐縮デア
リマスケレドモ、今後尙十分研究ヲ續ケタ
イト、左様ニ考ヘテ居リマス、御了承ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 段々ト御尤モナ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ一般的ナ

御質問ガゴザイマスレバ……尙御質疑モ殘ッ
テ居ルト存ジマスケレドモ、何分相當御研
究モ要ルコトト考ヘマスルノデ、法案モ澤
山ゴザイマスカラ、今日ハ此ノ程度デ止メ
マシテ……

○子爵綾小路護君 先刻ノ資料ノ追加ヲ致
シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 宜シウゴザイ
マス

○子爵綾小路護君 先程銀行預金ノ總額ノ
要求ガゴザイマシタガ、ソレニ關聯ヲ持ッ
テ居リマスルカラシテ、郵便貯金ノ最近五
箇年程ノ數量ヲ所管ガ達ヒマスルガ、御提
出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 承知致シマシタ
○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ只今

申上ゲマシタ通り今日ハ此ノ程度ニ止メマ
シテ、本委員會ヲ月曜ノ朝十時ヨリ開會致
シタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午前十一時五十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 男爵明石 元長君
委員

公爵一條 實孝君
侯爵淺野 長武君
子爵綾小路 護君
子爵上原七之助君
三井清一郎君
男爵小畑大太郎君
下村 宏君
河田 烈君
富田 健治君

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省資金局長 松田 令輔君
大藏省理財局長 田中 豐君
大藏省銀行局長 山際 正道君
大藏省監理局長 相馬 敏夫君
專賣局長官 木內 四郎君
專賣局理事 濱田 德海君

澁澤 金藏君
野村 德七君
米原 章三君